

公益財団法人日本郵趣協会 2012年度事業報告書(2012年4月1日～2013年3月31日)

【事業活動の総括】

日本及び世界各国の郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究—これを「郵趣」という。

「郵趣」を通して、郵便切手文化の向上発展に資する、それを未来に継承する。

そして、心豊かな潤いのある社会創造に寄与する。

という基本理念のもと、公益財団法人化して2年目の2012年度は、理事会、理事懇談会、運営協議会、各委員会を定期的開催して意思統一を図り、日本郵政グループをはじめ、「郵趣」に理解のある企業・団体との協働を進めて、「郵趣」を広く社会一般に普及啓発する、さまざまな事業を展開した。

協会活動のコアとなる収集家に対しては、自らの収集を深く掘り下げ、研究の成果をさまざまな展覧会に発表することと、月刊誌『郵趣』や各種出版物に積極的に発表することを呼び掛け、11月の第47回全国切手展<JAPEX2012>や『ビジュアル日本切手カタログVol.1 記念切手編1894-2000』刊行に結実することができた。

<JAPEX2012>は、「世界を楽しむ、それが切手」をテーマに、新設のユース及びオープンをはじめ、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、文献、ワンフレーム、その他、の全11クラスで公募作品があり、大金賞から銀銅賞までバランスのとれた入賞結果となった。従来の<JAPEX>全記録に代わり、グランプリをはじめ上位入賞6作品を採録した「コレクション集CD」を出版した。これは現代にふさわしい状態で広く一般に公開したもので、企画出品の「発行75年記念 昭和切手」作品集と併せて、積年の<JAPEX>の成果は郵趣界に大きく貢献していると自負している。

普及啓発の大きな柱の一つ、毎年4月に開催する<スタンプショー>では、企画イベントとして東京スカイツリー®グランドオープン記念の「タワー・オブ・ザ・ワールド」と、「風景スタンプまつり」を実施し、第13回を数えたオープン切手展、トピカル切手展に、第1回フリースタイル・ワンフレーム展を加えて、多くの出品・参観者を集めることができた。従来の<サマーペックス>を発展的に解消した<ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2012>には、小学生から切手部門38作品、風景印部門36作品の応募があり、継続開催への手ごたえを掴むことができた。また、新切手や出版物の発行、展覧会や各種催事に関する情報を随時、ホームページに掲載し、公式ツイッター、公式フェイスブックなどのソーシャルメディア、メールマガジン「切手通信」配信と併せて、積極的な情報提供を図った。

雑誌『郵趣』の定期発行、第30回全国郵趣大会の開催など、協会活動の基礎をなす事業が順調に進んだことはいままでのない。郵趣品の流通促進を図るJPSオークションは予定通り6回開催し、出品総数9,000ロット、落札総額は8,600万円となり、協会の事業展開に寄与することができた。

2012年が沖縄復帰40周年の当たりにちなんで、協会が管理・保存していた、故立川憲吉日本郵趣協会2代目理事長の「沖縄切手コレクション」を沖縄県立博物館に寄贈した。<JAPEX2012>企画出品「辛亥革命100年・日中国交正常化40周年記念 中国切手展」開催に対して、2012「日中国民交流友好年」実行委員会から感謝状を得たことと併せて、定款にいう「公益目的を達成するために必要な事業」を具体化したと言えよう。

一方で、日本郵趣協会の組織、事業を継続的に安定したものにするため、日本郵便創業150周年、任意団体発足から75周年を迎える2021年を見据えて、事業の発展的な見直し、後継者育成を含めた中・長期的構想の策定、『(仮称)日本切手エンサイクロペディア』の将来構想や『日本郵便印ハンドブック』改訂版の具体的な作業は2013年度に持ち越した。

2012年度中に<日本国際切手展2011>を共催した財団法人日本郵趣連合が解散して、私たちは郵趣事業

を展開する唯一の公益団体となった。その責任の重さを自覚して、2012年度事業総括を踏まえて、今後の事業展開に取り組んで行く決意である。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する意匠、歴史、データ並びに郵便制度の研究に関して質の良い情報を広く社会一般に積極的に提供し、郵趣に関する歴史を未来に継承するため普及啓発を図った。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の切手趣味週間に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を872カ所で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を生かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 体験ワークショップ及び自由研究コンテスト

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、ユース層を対象にした体験ワークショップ「手紙を書いてみよう!」「切手はり絵」「切手魔法陣」「切手水はがし体験&紙付き切手つかみどり」「ジュニア切手作品制作」などを実施した。また、郵便に必要な切手、消印を題材にして、文化・歴史・自然等について知識・研究を深める自由研究の発表会を実施した。

①体験ワークショップ

会期：4月27日(金)～4月29日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

会期：8月22日(水)～8月26日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)

②<ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2012>作品発表会

会期：8月22日(水)～8月26日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、後援：豊島区教育委員会、(公財)通信文化協会、(株)豊島新聞社、としまテレビ、協賛：郵便事業(株)、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ、富士急行(株)、応募数：切手部門38作品、風景印部門36作品。

表彰式を8月26日(日)に切手の博物館(豊島区)で実施し、各部門にグランプリ及び特別賞(6協賛企業・団体)を授与した。

(3) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる「切手オリエンテーション」を開催した。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、文化活動の普及啓発に努めた。

①初級編

会期：5月12日(土)[第21回]、参加者数：3名。会期：6月9日(土)[第22回]、参加者数：3名。

会期：7月14日(土)[第23回]、参加者数：4名。会期：2013年2月9日(土)[第28回]、参加者数：9名。会期：3月9日(土)[第29回]、参加者数：10名。会場(いずれも)：切手の博物館(豊島区)。

②中級編

会期：9月1日(土)[第24回]、参加者数：5名。会期：10月13日(土)[第25回]、参加者数：4名。

会期：12月8日(土)[第27回]、参加者数：5名。会場(いずれも)：切手の博物館(豊島区)。

③特別編

会期：4月28日(土) [第20回]、会場：第36回<スタンプショウ2012>[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者数：3名。会期：11月10日(土) [第26回]、会場：第47回全国切手展<JAPEX2012>[サンシャインシティ文化会館(豊島区)]、参加者数：3名。

(4) 郵趣書籍の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な郵趣書籍を広く図書館にリクエスト・配備することにより、地域市民の誰でもが学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与した。

①『日本郵趣史 明治初期から終戦まで』：346冊

②『切手画家 木村勝の世界-第1次昭和切手の時代』：45冊

(5) 「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、国民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①新潟県切手まつりin新発田(第18回)

会期：6月2日(土)、会場：新発田市生涯学習センター／マナビィしばた(新潟県新発田市)、参加者数：150名、主催：中部地方本部、新発田支部

②岡山切手のつどい12

会期：6月24日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、参加者数：56名、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

③静岡県郵趣家の集い2012in沼津

会期：6月30日(土)、会場：ホテル・エルムリージェンシー(静岡県駿東郡)、参加者数：32名、主催：中部地方本部、沼津支部

④筑後地方切手のつどい2012(第14回)

会期：7月22日(日)、会場：小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)、参加者数：70名、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部、後援：郵便事業(株)小郡支店、郵便局(株)小郡郵便局、郵便局(株)小郡・三井部会

⑤広島<切手のフリーマーケット>(第10回)

会期：10月28日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者数：100名、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑥ほうふ切手の集い2012(西中国切手の集いを改称)

会期：10月7日(日)、会場：とくち農協会館(山口市)、参加者数：50名、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑦北九州切手のつどい2013

会期：2013年2月17日(日)、会場：AIMビル(福岡県北九州市)、参加者数：70名、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：日本郵便(株)北九州中央郵便局、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会

⑧広島切手のつどい2013

会期：2013年2月24日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者数：120名、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

(6) 第30回全国郵趣大会in小倉

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、郵趣の文化振興に寄与することを目的に、学術調査研究発表などの大会式典などを実施した。

会期：9月29日(土)～9月30日(日)、会場：リーガロイヤルホテル小倉(福岡県北九州市)、参加者数：106名。内容：大会式典、テーブルバザール(出店：7店13テーブル)、記念パーティ(参加者数：72名)。

(7) ホームページ、ツイッター、フェイスブックの運営、メールマガジンの配信

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の日本切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウムなどに関する情報をホームページにより随時掲載し、広く社会一般に公開した。また、公式ツイッター「kitte club」、公式フェイスブック「kitte」などのソーシャルメディア、及びメールマガジン「切手通信」の配信を通じて、広く一般社会への共有化を図った。

ホームページ総セクション数：795,625(前年度798,440)、ツイッター：ツイート5,400名(同5,092名)、フォロワー2,310名(同1,425名)、フェイスブック：いいね！212名(新規)、メルマガ購読者数：1,433名(同1,495名)

(8) バーチャル切手展

ホームページにおいて「バーチャル切手展」を開催し、郵便切手文化の普及啓発に務めた。実施テーマの選定にあたっては、7月からはより広く一般に理解しやすい内容に改めた。

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を進展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と希少性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベントなどを実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図った。

(1) 全国規模の展覧会

①第36回くスタンプショウ2012>

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画イベントとして東京スカイツリー®グランドオープンを記念した「タワー・オブ・ザ・ワールド」、風景印にスポットを当てた「風景スタンプまつり」を実施した。また、第13回オープン切手展、第13回トピカル切手展、第1回フリースタイル・ワンフレーム展の作品を公募した。

会期：4月27日(金)～4月29日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：郵便事業(株)、(公財)通信文化協会、協賛：(株)不二家、(株)伊藤園、(株)鼓月、富士急行(株)、(株)日本郵趣出版、月刊とれいん、宮沢模型(株)。

企画展示「鉄道切手と鉄道郵便」：11作品14フレーム、第13回オープン切手展：23作品71フレーム(前年度19作品52フレーム)、第13回トピカル切手展：28作品61フレーム(同23作品61フレーム)、第1回フリースタイル・ワンフレーム展：23作品、ブース出店：35店45ブース(同25店35ブース)。

②第62回<全日本切手展2012>

当協会の展示フレームの貸与、入場券の配布、開催の告知など、同展の協力に努めた。

会期：7月14日(土)～7月16日(月・祝)、会場：通信総合博物館(千代田区)、主催：(財)日本郵趣連合。

③第47回全国切手展<JAPEX2012>

開催テーマ：「世界を楽しむ、それが切手」。郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、ユース及びオープンの2クラスを新設追加し、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、文献、ワンフレーム、その他、の全11クラスの競争作品を公募した。また、グランプリ作品はじめ上位入賞作品6作品を採録した「コレクション集CD」を出版して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

会期：11月9日(金)～11月11日(日)、会場：池袋会場＝池袋サンシャインシティ文化会館(豊島区)、目白会場＝切手の博物館(豊島区)、入場者数：4,500名。後援：外務省、中華人民共和国駐日本国大使館、(公財)通信文化協会、協賛：日本郵便(株)、(株)日本郵趣出版、(株)鼓月、アーバンベンディックスネットワーク(株)、(株)彩流社。

企画出品「発行75年記念 昭和切手」：11作品51フレーム及び6ショーケース展示、企画出品「辛亥革命100年・日中国交正常化40周年記念 中国切手展」：11作品35フレーム及び2ショーケース展示、競争出品：111作品353フレーム(前年度89作品237フレーム)、ブース出店：29店38.5ブース(同31店42.5ブース)。

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松'12(第3回)

会期：4月28日(土)～4月29日(日)、会場：香川国際交流会館(香川県高松市)、入場者数：130名、主催：中国・四国地方本部。

②第3回楽しい切手展(愛・ハート切手展)

会期：5月20日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、入場者数：320名、主催：関東地方本部、横浜第一支部、横浜港北支部、横浜旭支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：郵便事業(株)南関東支社。

③スタンプショウ＝ヒロシマ'12(第29回)

会期：5月26日(土)～5月27日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、入場者数：1,000名、主催：中国・四国地方本部、〈スタンプショウ＝ヒロシマ〉組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、郵便事業(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社。

④スタンプショウ周南2012

会期：6月2日(土)～6月3日(日)、会場：ザ・モール周南(山口県下松市)、入場者数：304名、主催：中国・四国地方本部。

⑤大阪切手まつり2012(第14回)

会期：7月16日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、入場者数：550名、主催：関西地方本部、後援：郵便局(株)大阪東郵便局。

⑥第30回夏休み子供切手まつり

会期：8月10日(金)～8月12日(日)、会場：メルパルク京都(京都市)、入場者数：350名、主催：関西地方本部、後援：京都新聞社。

⑦第13回彩PEX2012&第18回川越ふれあい切手展(川越市市制90周年記念協賛事業)

会期：9月14日(金)～9月23日(日)、会場：川越アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、入場者数：800名、主催：関東地方本部、後援：川越市教育委員会、郵便事業(株)川越支社、埼玉県郵趣連合。

⑧スタンプショウこうち2012(第17回切手のおまつり)

会期：10月7日(土)～10月8日(日)、会場：イオンモール高知専門店街イオンホール(高知市)、入場者数：480名、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウこうち実行委員会、後援：日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、高知新聞社、RKC高知放送、KSSさんさんテレビ、KUTVテレビ高知。

⑨楽しい湘南切手展2012

会期：10月12日(金)～10月14日(日)、会場：フジサワ名店ビル(神奈川県藤沢市)、入場者数：320

名、主催：関東地方本部、湘南郵趣の会、後援：藤沢市教育委員会。

⑩中部スタンプショウ2012 in金沢(第11回)

会期：10月13日(土)～10月14日(日)、会場：金沢市文化ホール(石川県金沢市)、入場者数：300名、主催：中部地方本部、後援：日本郵便(株)金沢中央郵便局、北國新聞社、北陸郵趣連盟。

⑪スタンプショウかごしま2012(第15回)

会期：10月13日(土)～10月14日(日)、会場：KKR鹿児島敬天閣(鹿児島市)、入場者数：212名、主催：九州・沖縄地方本部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本放送、南日本新聞社。企画展示：「日本のスポーツ切手とオリンピック」。

⑫スタンプショウはかた2012(第23回)&第30回全九州ジュニア切手展

会期：10月20日(土)～10月21日(日)、会場：ホテルコムズ福岡(福岡市)、入場者数：300名、主催：九州・沖縄地方本部、スタンプショウはかた実行委員会、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、テレビ西日本、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社。特別展示：「相撲」。

⑬スタンプショウふくやま2012(第33回)

会期：11月17日(土)～11月18日(日)、会場：エム・シー福山ビル(広島県福山市)、入場者数：120名、主催：中国・四国地方本部、福山支部。

⑭第4回楽しい切手展YOKOHAM

会期：2013年3月3日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、入場者数：230名、主催：関東地方本部、横浜第一支部、横浜港北支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社。

⑮関西スタンプショウ2013(第26回)

会期：2013年3月23日(土)～3月24日(日)、会場：大阪マーチャングイズ・マートビル(大阪市)、入場者数：1,100名、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、関西郵趣連盟。企画展示「沖縄」：8作品12フレーム、〈JAPEX2012〉招待作品展示：7作品36フレーム。

(3) 展覧会への出品促進

①「〈JAPEX〉ルールブック」(〈JAPEX〉一般規則、審査基準、出品に関するQ&A等)を作成・発行し、出品希望者への配布とホームページでの公開。

②「〈JAPEX2012〉特別規則」を作成・発行し、出品希望者への配布とホームページでの公開。

③6月23日(土)～6月24日(日)に開催した〈登録審査員による切手展2012〉、9月29日(土)～9月30日(日)に開催した〈第30回全国郵趣大会in小倉〉及び当協会事務局において、出品コンサルティングを随時実施。

④11月11日(日)、〈JAPEX2012〉会場において、24名を対象に審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)を実施。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 郵趣書籍及び研究報告書

①『日本郵趣史 明治初期から終戦まで』(11月10日刊行)

②『切手画家 木村勝の世界-第1次昭和切手の時代』(11月10日刊行)

③『第47回全国切手展〈JAPEX2012〉コレクション集CD』(12月25日刊行)

④<JAPEX2012>記念出版『昭和切手 第1次～第3次』（2013年3月20日刊行）

(2) 定期刊行物

- ①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』 月刊／12回発行
- ②インターネット版『世界新切手ニュース』 月刊／12回発行
- ③情報速報紙『郵趣ウィークリー』 週刊／50回発行
- ④郵趣専門誌『郵趣研究 (The Philatelic Studies)』 隔月刊／6回発行

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2013』（4月20日刊行）
- ②『ビジュアル日本切手カタログVol.1 記念切手編1894-2000』（10月25日刊行）
- ③『JPS外国切手カタログ 新中国切手2013』（12月25日刊行）
- ④『日本郵便印ハンドブック』（改訂版刊行準備作業）

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、文化シンポジウム、研究発表会を開催し、知的情報の公開・周知を図った。

(1) 部会・例会

専門分野の学術調査研究組織の部会、地域規模の組織として研究情報交換を行う例会の計23グループが、延べ231回の会合を開催した。参加者数：延べ1,624名。

(2) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショーなどの形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期：4月27日(金)～4月29日(日)、会場：第36回<スタンプショウ2012>[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]。

A：トークショー「昭和切手少年の日々～あのころの話をしようよ!!～」(講師：泉麻人氏、みうらじゅん氏)。参観者数：260名、You Tubeにおいてダイジェスト版を公開。

B：講演会「鉄道切手のコレクション作り」(勝見洋介氏、樽井秀美氏)

②会期：11月9日(金)～11月11日(日)、会場：第47回全国切手展<JAPEX2012> [池袋サンシャインシティ文化会館(豊島区)]。

A：講演会「ポストークアルバムの誕生」(講師：魚木五夫氏)

B：講演会「日本郵趣史—明治初期から終戦まで—」(講師：天野安治氏)

C：講演会「喜望峰：ケープタウンから見る南アフリカ」(講師：内藤陽介氏)

D：トークショー「風景印NOW」(講師：古沢保氏)

E：パネルディスカッション「木村勝と第1次昭和切手」(講師：斎享氏、横山裕三氏)

F：講演会「切手と旅する世界遺産」(講師：佐滝剛弘氏)

(3) 専門分野の活動事例紹介

誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、全国規模の展覧会において各専門分野のグループ(部会及び例会)が研究活動事例を紹介した。

①会期：4月27日(金)～4月29日(日)、会場：第36回<スタンプショウ2012>[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、ブース形式：12グループ、ディスカッション形式：10グループ

②会期：11月9日(金)～11月11日(日)、会場：第47回全国切手展<JAPEX2012> [池袋サンシャインシティ文化会館(豊島区)]、ブース形式：15グループ、ディスカッション形式：10グループ

(4) 専門分野の研究発表会

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において各専門分野の学術調査研究成果を〈ミニペックス〉と称して広く一般に公開した。

①2012イギリス切手部会切手展

会期：4月14日(土)～4月15日(日)、入場者数：340名、研究発表：イギリス切手部会

②第10回絵画切手部会展

会期：5月11日(金)～5月13日(日)、入場者数：260名、研究発表：絵画切手部会

③第27回昆虫切手展

会期：6月8日(金)～6月10日(日)、入場者数：250名、研究発表：昆虫切手部会

④登録審査員による切手展2012

会期：6月23日(土)～6月24日(日)、入場者数：180名、研究発表：エキスパート委員会

⑤アメリカ切手展2012 america'12 一桜寄贈100年—

会期：6月27日(水)～7月1日(日)、入場者数：270名、研究発表：アメリカ切手部会

⑥JPS航空部会展2012 一航空機による郵便輸送100年—

会期：9月28日(金)～9月30日(日)、入場者数：290名、研究発表：航空切手部会

⑦鉄道記念日記念鉄道切手展 Railpex2012

会期：10月10日(水)～10月14日(日)、入場者数：480名、研究発表：鉄道切手部会

⑧JPS音楽切手部会20周年記念音楽切手展 一ドビュッシー生誕150年—

会期：10月27日(土)～10月28日(日)、入場者数：230名、研究発表：音楽切手部会

⑨南方占領地切手展

会期：11月21日(水)～11月23日(金・祝)、入場者数：120名、研究発表：南方占領地切手例会

⑩第8回中国郵票展

会期：2013年1月26日(土)～1月27日(日)、入場者数：170名、研究発表：福井和雄理事長

⑪パソコン郵趣部会展2013

会期：2013年2月22日(金)～2月24日(日)、入場者数：360名、研究発表：パソコン郵趣部会

⑫第5回聴覚障害者切手クラブ切手展

会期：2013年3月22日(金)～3月24日(日)、入場者数：200名、研究発表：聴覚障害者切手クラブ

⑬菊・田沢MINIPEX2013

会期：2013年3月29日(金)～3月31日(日)、入場者数：130名、研究発表：菊・田沢切手部会

(5) 専門分野の研究発表会への助成

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において開催した各専門分野の学術調査研究成果の発表・公開に対して、以下の助成を行った。

①第10回天野安治・魚木五夫郵趣展

会期：6月15日(金)～6月17日(日)、入場者数：190名、主催：天野安治氏、魚木五夫氏

②三鷹支部／方寸会合同切手展

会期：7月13日(金)～7月15日(日)、入場者数：260名、主催：三鷹支部、方寸会

③第9回震災切手と震災郵趣展

会期：11月16日(金)～11月18日(日)、入場者数：120名、主催：震災切手研究会

④第1回ヨーロッパ切手展

会期：2013年1月19日(土)～1月20日(日)、入場者数：260名、主催：STAMPEDIA

⑤第4回テーマティック出品者の会切手展

会期：2013年2月8日(金)～10日(日)、入場者数：240名、主催：テーマティック出品者の会

⑥第4回世界の郵趣展

会期：2013年2月15日(金)～2月16日(土)、入場者数：140名、主催：クラシックフィラテリー研究会

⑦音楽切手オープン切手展 —荒井照夫コレクション展—

会期：2013年3月16日(土)～3月17日(日)、入場者数：250名、主催：荒井照夫氏

(6) 定期刊行物における研究発表

①『郵趣(YUSHU)』

「日本切手の凹版彫刻者たち」「仏領切手物語」「日本切手カタログからの第一歩」(昭和切手)「時代を語るクラシック&セミ・クラシック切手」などの研究報告を発表。

②『郵趣研究 (The Philatelic Studies)』

「フロレス暫定切手の定常変種」「特別速達『あかつき便』の非真正エンタエア」「手彫封皮のプレーティング」「小判1銭切手の版研究」など多数の研究報告を発表。

(7) 郵趣資料の収集・公開

郵趣に関する貴重な研究資料が拡散しないように幅広く収集・整理し、それを切手の博物館において保存・公開することにより、社会一般の共有財産として次世代に継承することに努めた。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を実施した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

①国際切手展<INDONESIA 2012>への出品

7月18日(水)～7月24日(火)、ジャカルタ・コンベンションセンター(インドネシア)で開催された国際切手展<INDONESIA 2012>に2文献を出品。「軍事郵便」が大銀賞、「手彫切手1871-1876」が金銀賞を受賞。

②第28回アジア国際切手展<SHARJAH 2012>への出品

11月20日(水)～11月25日(火)、シャルジャー・メガモール(アラブ首長国連邦)で開催されたアジア国際切手展<SHARJAH 2012>に2文献を出品。「軍事郵便」が大銀賞、「手彫切手1871-1876」が金銀賞を受賞。

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

①辛亥革命100周年・日中国交正常化40周年記念「中国切手展」

会期：11月9日(金)～11月11日(日)、会場：池袋サンシャインシティ文化会館(豊島区)、後援：外務省、中華人民共和国駐日本国大使館。延べ11名より、11作品35フレーム及びショウケースの展示を実施。中華人民共和国駐日本国大使館より感謝状授与。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネイジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般に敷衍するとともに、郵便切手類の価値の公正化に努めた。出品総数は9,181ロット、落札総高は86,433千円。

- ①第480回 開催日：4月28日(土)、会場：東京都立産業貿易センター・台東館(台東区)
- ②第481回 開催日：7月7日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- ③第482回 開催日：9月8日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- ④第483回 開催日：11月10日(土)、会場：池袋サンシャインシティ文化会館(豊島区)
- ⑤第484回 開催日：2013年1月12日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- ⑥第485回 開催日：2013年3月2日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

(2) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止し、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、文化の保全と健全なる市場の形成を図った。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

①第33回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長：福井和雄、委員：天野安治、稲葉良一、植村峻、魚木五夫、落合宙一、桑野博、下邑政弥、土屋理義、松本純一、渡辺勝正)を設置し、第33回中島健蔵・水原明窗記念賞の受賞者に高野昇郎氏を決定。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長：福井和雄、委員：浅見啓明、落合宙一、桑野博、後藤茂、玉木淳一)を設置し、該当者なしと決定。

③第32回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上選考委員会により選考され、それぞれ次のように決定。

- ・個人部門：末永満次氏、常田勇次氏、山本勉氏
- ・団体部門：北見支部、相模原支部

④第32回郵趣文献賞

同上選考委員会により選考され、以下の3文献に決定。

「選挙郵便」(加藤秀夫著)、「船切手の世界」(船切手同好会著)、「日本の軍艦郵便」(横山裕三著)

⑤第29回小倉謙賞

〈JAPEX2012〉審査員会により選考され、山田精一氏「バラのきた道＝その生い立ちと人々とのかかわり＝」に決定。

⑥第27回住野正顕賞

〈JAPEX2012〉審査員会により選考され、荒木寛隆氏「再独立リトアニア郵便史1988-1994」に決定。

(2) 授賞式

①第32回中島健蔵・水原明窗記念賞授賞式及び記念講演会

4月7日(土)、切手の博物館(豊島区)において、植村峻氏への授賞式、並びに同氏による記念講演会「最近における世界の切手印刷事情」を実施。聴講者数：40名。

②第33回中島健蔵・水原明窗記念賞授賞式及び記念講演会

9月29日(土)、〈第30回全国郵趣大会in小倉〉の大会式典において、高野昇郎氏への授賞式を実施。

また、第47回全国切手展<JAPEX2012>において、同氏による記念講演会「手彫切手—新仮名ブツ論」を実施。聴講者数：40名。

③第32回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)、第32回郵趣文献賞

9月29日(土)、<第30回全国郵趣大会in小倉>の大会式典において、第32回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第32回郵趣文献賞の授賞式を実施。

④第29回小倉謙賞、第27回住野正顕賞

11月11日(日)、第47回全国切手展<JAPEX2012>において、第29回小倉謙賞及び第27回住野正顕賞の授賞式を実施。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに潤いのある社会形成を推進するため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 手紙を書こう！プロジェクト

①季節ごとの手紙プロジェクト

第36回<スタンプショウ2012>、<ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2012>、第47回全国切手展<JAPEX2012>などにおいて、体験ワークショップ「手紙を書いてみよう！」を実施。

②未来への手紙(タイムカプセル郵便)：申込数148通。

③愛の手紙(セント・ヴァレンタイン・リターンメール)：申込数185通。

④切手を調べてみよう・風景印をデザインしてみよう

8月22日(水)～8月26日(日)の5日間、切手の博物館において、<ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2012>として実施。(詳細は1. 普及啓発事業を参照)

※「手紙を書こう！プロジェクト」は、日本郵便(株)の協賛事業として実施。

(2) 登録支部・団体との協働

登録支部・団体数：104、新規登録：4(佐倉郵趣会、生野支部、近江趣楽会、広島菟郵会)、登録取り消し：1(宇治支部)。

①地域活動への活性化への支援及び企画プログラムの提供

『郵趣(YUSHU)』及び当協会ホームページにおいて各地域のイベント情報を紹介するとともに、企画プログラムの提供、講師の紹介などの支援を行った。

②切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ5回の切手教室に助成を行った。

③地域が取り組む展覧会への助成

登録支部・団体が開催した延べ34回の展覧会に助成を行った。

(3) 公益活動への支援

①第4回てづくりレターコンクール[主催：(公財)通信文化協会]

②切手バザール[主催：(財)切手の博物館]

③第16回目白ロードレース[主催：目白ロードレース実行委員会]

(4) コレクションの寄贈

1972年に沖縄が本土復帰してから2012年で40周年の節目を迎えることから、当協会が管理・保存していた故立川憲吉氏(当協会2代目理事長)の「沖縄切手コレクション」(沖縄のB円時代の普通切

手及び記念切手)を沖縄県博物館・美術館に寄贈した。

(5) ボランティアの募集

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト6社に登録。第36回<スタンプショウ2012>に一般ボランティア19名、第47回全国切手展<JAPEX2012>に一般ボランティア25名の応募があり、延べ58名がボランティアとして参加した。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募った。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) サポート・パートナー企業・団体の募集

延べ16企業・団体からの協力・支援を得た。

(2) 使用済み切手&書き損じはがきの募集

132件、総額161,253円。

(3) 財政安定化寄附金（一般寄附金）

9件、総額87,730円。

(4) <JAPEX2012>寄附金（特別寄附金）

635名より、特別寄附金32口(1口3万円)、一般寄附金728口(1口4千円)、合計760口、総額3,874千円。

II 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

(2) 会員の維持・拡大

①ホームページ、切手カタログ、全国規模の展覧会などにおいて、「お試し入会キャンペーン」を実施。お試し入会者数：1,441名、入会者数：132名。

②移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員、維持会員へ、正会員から維持会員への移籍)、維持促進及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大の呼びかけを実施。普通会員から正会員：1名、普通会員から維持会員：5名、正会員から維持会員：なし。

③「正会員会報」月刊/12回発行

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りに努めた。

(1) 新春交歓会

①関西・新春交歓会

会期：2013年1月5日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者数：50名。

②東京・新春交歓会

会期：2013年1月12日(土)、会場：ホテルメッツ目白「フィオレンティーナ」(新宿区)、参加者数：63名。

(2) 郵趣大会

①第28回関東郵趣の集いin塩山

会期：4月21日(土)～4月22日(日)、会場：塩山温泉「旅館ゆばた」(山梨県甲州市)、参加者数：70名、主催：関東地方本部

②東北郵趣大会2012 in仙台

会期：6月9日(土)～6月10日(日)、会場：作並温泉「鷹泉閣岩松旅館」(仙台市)、参加者数：71名、主催：北海道・東北地方本部

③関西地区会員交流会

会期：7月16日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、参加者数：550名、主催：関西地方本部

④第22回北海道郵趣大会in札幌

会期：10月13日(土)～10月14日(日)、会場：ホテルサンルートニュー札幌(札幌市)、参加者数：58名、主催：北海道・東北地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

発行数：18,982 枚、流通数：1,143 枚(流通率6.0%)